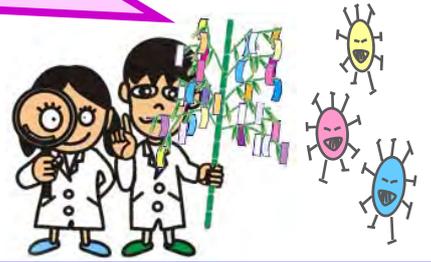
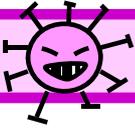


感染症に気をつけよう!

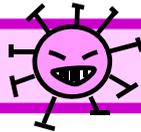
2019年【7月号】

横浜市内の感染症 流行状況



感染症*	流行状況		説明【解説付き既刊号等】 ← クリック
麻しん**	散発	やや減少	4月以降、海外渡航歴のない、感染経路不明の例が報告されています。【'19.6号】
風しん**	多発	横ばい	30~40代の男性を中心に、まだ、報告数が多い状態が継続中です。【'19.4号】【予防接種】
手足口病**	警報	急増	夏に流行します。今年は、例年の同時期の報告数を大きく上回って推移しています。【'17.7号】

今、気をつけたい感染症 手足口病



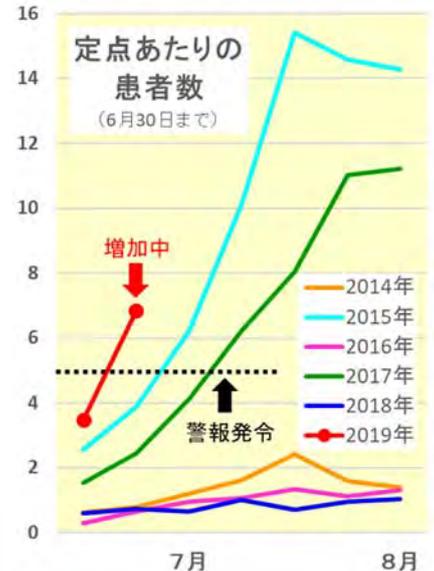
●ウイルスが原因で、5歳以下に多く、口の中や手足などに水ぶくれ様の発疹が出ます。●治った後に、爪がはがれる場合もあります。●咳のしぶきや便等から感染し、保育園での集団感染もよく発生します。

●予防には手洗い**が大切です。●特に、おむつを替える時には、きちんと手を洗いましょう。●治ってからも長い間、便の中にウイルスが排泄されるので、注意が必要です。

●ほとんどは、数日間のうちに治りますが、まれに髄膜炎など重い合併症もみられます。●経過観察をしっかりと行い…

- ✓高熱が出る ✓発熱が2日以上続く ✓嘔吐する
- ✓頭を痛がる ✓視線が合わない ✓呼びかけに答えない
- ✓呼吸が速く息苦しそう ✓水分が取れずおしっこが出ない
- ✓ぐったりとしている

…などの症状があれば、すぐに受診してください。



参考ホームページ *：国立感染症研究所 **：厚生労働省

横浜市衛生研究所 感染症・疫学情報課 【横浜市感染症情報センター】

